

平成30年度 大山崎町社会福祉協議会事業計画

平成30年6月7日の理事会、6月21日の評議員会で「平成30年度事業計画」の承認を受けました。地域力・地域福祉力の向上を目指すとともに、社会情勢の変化や福祉制度の動向、新たな住民ニーズに対応できるよう、『第2期地域福祉活動計画』の策定を進めます。また、「住民主体」の福祉活動をより積極的に推進するとともに、本会が実施する各種事業・サービスの効率的かつ組織的、有機的な運営を図ることを目的に組織機構の見直し、労働環境の改善、研修による職員のスキルアップ及び財政基盤の強化を一体的に進めます。主な事業計画をご紹介します。

1 地域福祉の推進

「みんなで参加 絆で支えあう まちづくり」の実現に向けて、町内会・自治会、民生児童委員、ボランティア団体、各種福祉団体等との協働を推進するとともに、社会情勢の変化や福祉制度の動向、新たな住民ニーズに対応できるよう『第2期地域福祉活動計画』の策定を進めます。

2 相談体制の充実・強化

地域包括支援センター及び障害者相談支援事業で、専門職による相談の充実・強化を図り、必要な支援やサービスに繋げるとともに、身近な生活相談・福祉相談窓口という、社協本来の役割を果たせるよう努めます。

3 災害に負けないまちづくり

町と協定を交わした「災害ボランティアセンター」に必要な資機材の整備、災害ボランティア養成講座の開催など、防災・減災のまちづくりに資する取り組みを行政とともに進めます。

4 介護保険事業の健全経営

通所介護、訪問介護、居宅介護支援の介護3事業は、要介護高齢者の増加に対応できるようサービス・支援の拡充を図るとともに、法改正などの情勢変化への的確な対応に努め、経営の効率化を図ります。

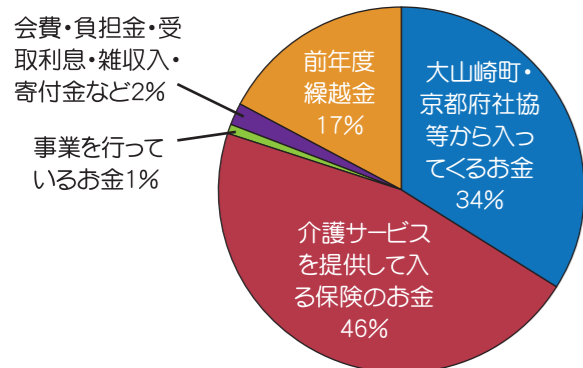
5 法人組織・財政の基盤強化

社会福祉法人改革により、権限強化された理事会・評議員会の機能を充分活用し、法人組織の強化を図るとともに、会員の加入促進、公的財源の確保、自主財源造成事業等の企画実施などにより財政の基盤強化に努め、健全な法人運営に取り組みます。

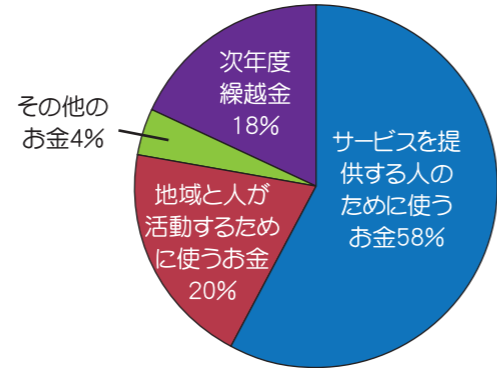
また、職員研修の充実、労働環境の整備を進めることにより、その資質向上とモチベーション維持に努め、社協が実施する各種事業・サービスの効率的、組織的、有機的な運営・遂行を推進します。

平成30年度 大山崎町社会福祉協議会予算額

収入総額 254,950千円



支出総額 254,950千円



皆様のおかげで
35周年を迎えます

平成30年度 社協会員会費募集のお願い

福祉のまちづくりの活動費として会費を活用しています!!



社会福祉協議会（社協）とは？

わたしたちが住んでいるまちの暮らしや生活（社会）のしあわせ（福祉）について一緒に話し合う（協議）集まり（会）です。

社協会員とは？

社協の事業に賛同し、資金面から支えていただくサポーターです。ボランティア活動などへの参加が難しくても、社協会員になることで、地域福祉に参加することができます。

年間を通じて募集しています

強化月間
平成30年7月1日～7月31日
会員区分および会費額(年額一口)

一般会員
1,000円

賛助会員
3,000円

特別会員
10,000円

(※1,000円未満は、寄付金として受付させていただきます。)



地域福祉への様々な活動内容



赤い羽根共同募金活動



いきいきサロンの推進



地域福祉の推進

大山崎町社会福祉協議会ではさまざまな地域福祉活動を行っており、地域にお住いの皆さまからの会費によって支えられています。毎月7日は、会費の募集強化月間です。皆さまの温かいご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

賛助会員・特別会員については、お名前を広報紙「社協だより」に掲載させていただきます。不都合がある方は、大山崎町福祉協議会までご連絡ください。☎075-957-4100